

3 . 基本方針・基本目標

基本方針・基本目標は、「住生活における課題」の解決を目指し、総合計画などの各種施策との整合性や連動性、計画期間の実現可能性を考慮して以下のとおり設定しました。

基本方針

豊かな地域の資源 を活かし みんなでつくる 安全・安心・快適な住宅と住環境

「豊かな地域の資源」とは、自然資源だけでなく、人的なものや文化的なものなど、瑞浪の各地域に存在する特徴的なもので活用可能なものを指します。

本市は7町村が合併して発足した市であり、旧町村の中心部がそれぞれの地域核を形成し、独自の文化やまちの形の維持と発展を遂げてきました。

良好な自然と歴史・文化、伝統産業が継承されているなど、優れた住環境が確保されているものの、中心市街地 以外の集落地などでは人口減少が著しく、生活利便施設の維持が困難になる地域も見られます。

JR 瑞浪駅付近を中心として発展してきた中心市街地も、人口の外縁化や大型商業施設の郊外立地が進んだことで中心的な商業機能が低下するなど、機能低下が顕著となっています。

今後は、豊かな自然や歴史・文化などを活かし、魅力的な地域づくりと多世代が住み続けられる地域づくり、環境にやさしい地域づくりを目指し、安全・安心・快適な住宅・住環境づくりを進めていくこととします。

なお、地域の課題解決は、住民との協働のもと取り組んでいきます。

概ね JR 瑞浪駅周辺の商業系用途地域の範囲です。



基本目標

基本目標 1 地域の力を活かした居住支援体制の整備

活発に展開されている地域活動をさらに進展させ、地域と行政の協働により土地利用や都市施設の計画と整備の促進に向けて取り組んでいきます。

さらに、地域や住宅関連事業者と行政が連携し、高齢者や子育て世帯の生活支援を進めるとともに、空家などの活用や住宅流通の仕組みを整えていくことで、人口増加や地域の発展・維持に繋げていきます。

基本目標 2 地域の特性を活かした住宅・住環境の形成

良好な地域資源を有効に活用するまちづくりの実現に向け、適正な開発と抑制に向けた指導のもと、無秩序な市街地拡大をすることのないよう取り組んでいきます。

その上で、地域ごとの固有で良好な自然や文化の特性・資源を活かし、地域の人々が快適に暮らすことができる住宅・住宅地づくりを進めていくとともに、利便性が高い地区での住宅立地を促進していきます。

基本目標 3 安全・安心に暮らせる住宅・住環境の形成

住宅困窮世帯を適正に支援していくとともに、地震などの災害に強い住宅・住環境を整えていきます。

さらに、生活便利施設の存続や地域コミュニティの維持を図るため、地域の需要に応じて生活関連施設などの誘致に取り組み、交通システムの拡充を進めるなど、市民にとって安全な地域づくりを進めていきます。

基本目標 4 環境にやさしく長持ちする住宅・住宅地の形成

省エネルギー化、省資源化を図るリフォームの普及とともに、住宅事業者の技術力の向上並びにリフォーム関連の情報の流通体制を整えていきます。

地球温暖化防止効果などの観点から、環境にやさしい基盤施設の整備に努め、環境にやさしく、長持ちする住宅・住宅地づくりに努めます。

さらに、空家の有効活用のため、空家の実態を把握し、使えるものについて活用を検討していきます。